

11月 幼児部だより

平成30年11月26日発行 洗足池保育園

秋も深まり、朝夕は冷え込む季節になってきました。子ども達は、散歩先で落ち葉やどんぐりを拾っては、嬉しそうに見せてくれています。秋の草花や冷たい空気に触れる事で、自然の移り変わりを感じているようです。



今月の
一コマ



折り紙で新幹線を作りました！クレパスで窓をたくさん描いて完成♪嬉しさのあまり「先生、新幹線と一緒に写真撮って」と、お願いするのです。

積み木を使い、ドミノ倒しを作るY君とR君。二人で話し合い、ドミノの先にあるビー玉が、積み木の中に入れ替わる仕掛けを作っています☆

11月生まれのおともだち

K.Hくん (4歳)
S.Mちゃん (6歳)
K.Sくん (6歳)



12月のうた

- ・ジングルベル
- ・赤鼻のトナカイ
- ・お正月



わかば組

散歩先の公園には、落ち葉やどんぐりなどが地面に広がり、すっかり秋らしい光景が広がっています。また、園庭にも沢山の落ち葉がひらひらと落ちてきます。その様子を見て、「綺麗な落ち葉だね!」「これで何か作ろうか!」「そうだ!おままごとで使ってみよう」などと、様々な声が聞こえてきます。

ある日、一人の子が園庭にある落ち葉を集め、レジャーシートの上に置いていました。しばらく様子を見てみると、なにやら落ち葉の布団を作っているようです!全て集め終わると、ニヤニヤしながらふかふか具合をチェック♪そして思いつき、ゴロンと横になっていました。「気持ちいいね♪」や「葉っぱがサクサクって言うてるよ」などと言いながら、葉っぱの感触を全身で味わっていました。その様子を見ていた他の子も「面白そう!〇〇ちゃんも、ゴロンしてもいい?」と聞き、ぞくぞくと集まって落ち葉布団を体験していましたよ。想像していたよりも気持ち良かったようで、しばらくゴロゴロしていました♪



これからも、子ども達の発想を大事にしながら、遊びを深めていこうと思います。

あおば組

ますます深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを楽しんでいる子ども達。

先日、共同製作の話し合いをし、子どもの提案で大きくなるみの木を作りました! 幹を作るチームと、葉っぱを作るチームに分かれて、皆で協力して行いました。葉っぱチームは、カラーポリ袋に新聞紙を詰め、そこに本物の落ち葉を付けるために、園庭で綺麗な落ち葉を探しましたよ。綺麗な落ち葉が見つかったら、「先生見て!綺麗な葉っぱ見つけたよ」と保育者に落ち葉を見せてくれる子ども達。「この葉っぱは赤色が多くて綺麗に見えるね!」と色合いや形の違いに興味を持ち、製作で落ち葉を使う事を楽しみにしていました。幹チームは、段ボールを幹に見立て、皆で協力して大きな段ボールに色を塗っていましたよ。くるみの木の写真を見ながら、「ここに置いたら木なりそう!」と、幹と葉っぱをどのように繋ぎ合わせるか話し合い、製作を楽しんでいる子ども達でした。作品展に向け、完成が楽しみなようです!

これからも、子ども達の好きな自然に興味を持てるよう、自然に触れる機会を増やしていきたいと思っております♪

